[衛生動物 Vol. 26 No. 4 p. 255~256 1975]

資料

わが国におけるアシダカグモの
地理的分布

大 利 昌 久

横浜市立大学医学部寄生虫学教室
(〒232 横浜市南区浦舟町2の33)

(受領: 1975年6月12日)

Geographical distribution of *Heteropoda*
venatoria in Japan (Araneae:
Heteropodidae)

Masahisa ORI

Department of Parasitology, School of Medicine,
Yokohama City University, Urafune,
Minami-ku, Yokohama 232, Japan

別報 (大利, 1974a, 1974b) にてアシダカグモ *Heteropoda venatoria* が, 人家内や人家の庭, 畜舎に好んで生息し, 各種の衛生害虫を主な餌動物にしている有益な生物であることを報告した. 本種はインドが原産地で, 貿易とくに交通の発達に伴い次第にその分布域を広げ, 現在では全世界の熱帯, 亜熱帯, 温帯の各地に生息しているといわれ (Bonnet, 1957), わが国からは Koch が, 1878年に長崎県ではじめて本種の生息を報じた (Karsch, 1879).

本報では1963年から1966年の4年間, および1972年, 1973年に, 42都道府県174地区における分布調査によって, わが国における本種の地理的分布の概要を明らかにしたので報告する.

調査方法

42都道府県, 174地区において本種の分布調査をおこなった. 本種は人家内や物置, 畜舎などの建造物内に生息する傾向がみられるところから, このような場所を中心に調査した. 人家内の調査では, 地区によって本種の写真をみせ面接調査もおこなった. 1地区10カ所の調査で, 本種の生息をみなかった場合, 未分布地区として記録した. 原則として個体採集はせず, 幼体の場合のみ, 本種と類似のコアシダカグモとの誤認を避けるため採集し検索した. 調査地および調査年代は省略した.

調査成績

図1に示すように本種の生息が記録できたところは,

Fig. 1 Map showing geographical distribution of the spider, *Heteropoda venatoria*, in Japan

● found
○ not found
■ district hitherto recorded

35都府県, 137地区であった. その他の37地区は緯度38度以北の諸県および標高1,000~2,000 mの山岳地帯, 内陸の山村地帯, 近代的大都市であった. 著者の未調査の県で, 高知県 (中平, 1961), 和歌山県 (青柳ら, 1966), 富山県 (関口, 1943), 栃木県 (浜村, 1965) の4県は既報の分布地域であり, その他青森県, 秋田県の2県ではその生息が知られていない (八木沼, 私信). 島嶼の調査では14島, 22地区のすべてから本種が記録された.

以上の成績から, 本種の分布北限となる地域を県別であらわすと, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 長野県, 富山県, 石川県の6県で, 緯度で示すと36度から38度の間, 等温線では年平均気温12度から14度の間にあることがわかる.

考察

本種の地理的分布について関口 (1943) は, 5都県20地区の調査から, 房総半島以西の本州南岸線に分布していると報告している. その他植村 (1965) は, 東京都内 (離島を除く) にはいないがほぼ植村線以南, すなわち年平均気温15度の等温線以南に生息しているとしている. 萱嶋 (1970) は, 東京都の八王子, 三鷹, 練馬, 品川などから本種を記録し, 都下にも生息していることを報じた.

島嶼における本種の分布域は広く, 筆者の南西諸島お

よび長崎県内の離島14島以外に、伊豆諸島（植村, 1965 ; 新海, 1969 ; 松本, 1973）、小笠原諸島（八木沼, 1970）男女群島（山口, 1973）、その他、沖の島、鵜来島、隠岐などでの生息が知られ（中平, 1957, 1973 ; 関口, 1943）、本種が船舶などによる交通機関によってその分布域をひろげたことを示唆している。

本報では42都道府県、174地区の分布調査から、35都道府県、137地区での生息を明らかにしたが、既報の4県を加えると、39都道府県での生息が明らかになった。本種の分布北限と思われる線は緯度36度から38度の間で、等温線で示すと年平均気温12度から14度の間に存在することがわかった。それゆえ、本種の分布北限となる線は、従来報告されている植村線より北上していることがわかる。また、174地区の調査から、本種が本州南岸地帯や九州に多く、山岳地帯や内陸の山村、近代的大都市には少ないことが示された。

本種の分布条件を決定する要因としては、本調査で明らかのように、山岳地帯に少ないか生息していないこと、緯度が高くなるにつれ本種の分布がまばらになることから気温条件が重要である。その他、人家周辺の環境、餌動物の分布状態の要因も重要であり、とくに本種の主要な餌動物であるゴキブリ類の分布域との関連が重要であると思われる。さらに、交通機関の発達の様相も無視できない。また仔蛛の空中分散発育による分布域の拡大要因も大きいものと思われる。これらいくつかの要因と本種の分布域の関連については、今後の調査検討が必要である。

まとめ

1963年から1966年の4年間、および1972年、1973年に、42都道府県、174地区でのアシダカグモの分布調査をおこない、35都道府県、137地区で本種の生息を記録した。従来の既報の地域を合わせると、本種の分布北限となる地域は、緯度36度から38度の間、等温線で示すと年平均気温12度から14度の間に存在することが明らかになった。

稿を終るにあたり、ご校閲を賜った横浜市立大学医学部林滋生教授、資料を提供下さった追手門学院大学八木沼健夫教授、東亜蜘蛛学会新海栄一氏に感謝する。

参考文献

- 青柳昌宏（1969）：校庭のクモ類の生態学的研究。
和歌山県立那賀高等学校生物クラブ研究報，7：1-21。
Bonnet, P. (1957) : Bibliographia Araneorum.
III, pp. 591, Toulouse, France.
浜村徹三（1965）：栃木県産真正蜘蛛類目録（1）。

Atypus, No. 36 : 39-47.

Karsch, F. (1879) : Baustoffe zu einer Spinnenfauna von Japan. *Verh. d. Nat. Ver.*, 36 : 57-105.

萱嶋泉（1970）：東京都（離島を除く）におけるアシダカグモについて。 *Kishidaia*, No. 18 : 1-2.

松本誠治（1973）：神津島産真正蜘蛛類目録。採集と飼育，35(2) : 41-47.

中平清（1957）：沖の島探蛛行。 *Atypus*, No. 13 : 5-10.

中平清：（1961）：高知県のクモ。 *Atypus*, No. 23-24 : 27-60.

中平清（1973）：鵜来島・沖ノ島探蛛行。 *Atypus*, No. 60 : 18-26.

大利昌久（1974a）：衛生害虫の天敵としてのクモ類の研究。1. 長崎県の家屋内に棲むクモ類の観察。衛生動物，25(2) : 153-160.

大利昌久（1974b）：衛生害虫の天敵としてのクモ類の研究。2. 長崎市の庭に棲息するクモ類の観察。衛生動物，25(3) : 259-266.

関口晃一（1943）：アシダカグモ *Heteropoda venatoria* Linnaeus の生活史に就いて（上）。 *Acta Arachnologica*, 8(3) : 66-73.

新海栄一（1969）：東京都産真正蜘蛛類，pp. 65, 東亜蜘蛛学会，大阪。

山口鉄男（1973）：男女群島の生物（男女群島学術調査報告書），pp. 223, 長崎県生物学会，長崎。

Summary

The spider, *Heteropoda venatoria*, has been known to be an effective natural enemy of pest insects like cockroaches and flies. The field study on the geographical distribution of this spider was made during the periods from 1963 to 1966 and from 1972 to 1973. It covered 174 points in 42 prefectures. Results were as follows :

1. This spider was recorded at 137 points in 35 prefectures.

2. This spider was found more abundant in the southern parts of Japan, as Kyushu and Chugoku districts and in the Pacific side of Honshu Islands including many southern remote islands.

3. The northern boundary of habitats of this spider was found to lie on the area of six different prefectures, namely Ibaraki, Tochigi, Gumma, Nagano, Toyama and Ishikawa Prefecture. Those prefectures lie at 36°-38° North Latitude and in the zone of the annual mean temperature of 12°-14°C.